

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2018.4.27	使用開始日	平成30年5月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	檜原医師 化学療法委員会承認 平成 30年 5月
レジメン名	ウィークリーアブラキサン+サイラムザ		
疾患名	胃がん	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	有効な限り コース催吐性リスク軽度
抗がん剤投与量・投与日	アブラキサン100mg/m ² day1,8,15、サイラムザ8mg/Kg day1,15		

治療スケジュール・投与日程（投与日は●）				(day)																												
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	アロキン注バッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分								●								●												
	点滴静注	テキサト注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●							●								●												
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body																	●												
	点滴静注	サイラムザ	8 mg / Kg	60 分								●								●												
サイラムザと同量の生食を抜いてから混注する(合計250mLとする)																																
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分																●												
4	側管	生食100mL	1 本 / body									●								●												
	点滴静注	アブラキサン	100 mg / m ²	30 分								●								●												
インラインフィルター無しのルートに交換する																																
5	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分								●								●												
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- サイラムザ: 前投薬として投与の30分前に、レスタミン5錠の内服が必要。
- サイラムザ: 0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。投与後は生食50mLでフラッシュする。
- アブラキサン: インラインフィルターは使用しないこと。血液製剤の同意書と伝票が必要。
- アブラキサン: アブラキサンの後は生食50mLでフラッシュする。
- アブラキサン: 他剤との配合、または同じ静注ラインで同時注入しない。
- アブラキサン: 生食で溶解する。調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に用意した空の点滴バッグに入れる。(懸濁液を生食で希釈しない)